

CERAMICS JAPAN

Tracing Postwar Japanese Ceramic Design to the Present

戦後日本の陶磁デザイン

セラムックス・ジャパン

2026 10.24 [土] — 2027 1.17 [日]

岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーI

開館時間: 10:00 — 18:00 (最終入館 17:30まで)

休館日: 月曜日(ただし、11月23日[月・祝]、1月11日[月・祝]は開館)、11月24日[火]、1月12日[火]、年末年始(12月28日[月]~1月4日[月])

観覧料: 一般1000円(900円)、大学生800円(700円)、高校生以下無料 * ()内は20名以上の団体料金

* 以下の手帳等をお持ちの方、および付き添いの方1名まで無料 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証・登録者証

主催: 岐阜県現代陶芸美術館 協賛: 加藤智子氏

Museum of Modern Ceramic Art, Gifu, Gallery I
October 24 (Sat.), 2026—January 17 (Sun.), 2027
Hours: 10:00 — 18:00 (Last admission: 17:30)
Closed: Mondays (except November 23, January 11), November 24, January 12, December 28~January 4
Admission: Adults 1000(900) yen, College/University students 800(700) yen
*Prices in parentheses are for groups of 20 persons or more
*Admission is free for High school students and under, and those with Disability certificates and one caregiver accompanying them.
Organized by Museum of Modern Ceramic Art, Gifu / Sponsored by Kato Satoko

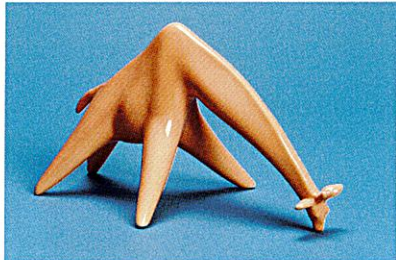
岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu
〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101 URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

セラミックス・ジャパン 戦後日本の陶磁デザイン

戦後日本の陶磁器産業は、戦前から培われてきた技術革新やデザイン研究を基盤に、復興期を経て、1950～60年代に大きく発展しました。本展では、戦後直後に始まった実験的な試みを起点に、社会や生活文化の変化とともに展開した、戦後日本の陶磁デザインの流れを概観します。

各地の試験場では、素材や成形技術の研究に加え、新しい生活に対応した製品やデザインの開発が進められました。また、海外のデザインや、来日した外国人専門家からの刺激も加わり、戦後の暮らしに寄り添う多様な陶磁デザインが生み出されていきます。高度経済成長期には、住まいの洋風化やLDK型の住居の普及など、暮らしのあり方が大きく変化しました。それとともに、陶磁器にも新たな需要が生まれ、さまざまなデザインの提案が試みられます。

主要産地やメーカーにおけるデザインや技術革新の動向、さらに1990年代以降に広がった手仕事やクラフトへの関心など、時代ごとの潮流にも目を向けながら、現在へと続く日本の多様な陶磁デザインの展開を紹介します。



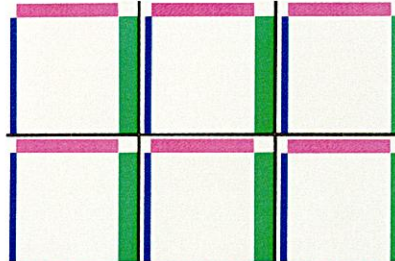
館蔵置物 | 名古屋工業技術試験所 | 1957 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター(愛知県陶磁美術館管理)蔵



食器セット「若杉」/ノリタケ | 1959 | 個人蔵



バーベキュー用テーブルセット | 滋賀県立信楽窯業試験場 | 熊倉順吉 | 1962 | 滋賀県南部産業技術共創センター信楽窯業技術試験場蔵、個人蔵



ダントウデザインタイル ムナリー | 淡陶社 | ブルーノ・ムナリー | 1974 | 株式会社淡陶社蔵



chat | セラミック・ジャパン | 中沢郁子 | 2008 | 株式会社セラミック・ジャパン蔵



灯籠(ガーデン・ライト) | 滋賀県立信楽窯業試験場 | 日根野作三 | 1959 | 滋賀県南部産業技術共創センター信楽窯業技術試験場蔵



ハンドルの器シリーズ | 柴木正敏 | 1994 | 個人蔵



美濃のラーメン丼 | 佐藤卓 | 2014 | 個人蔵

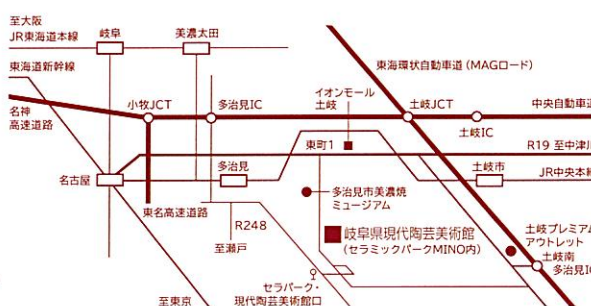
- 表面: 1. ティーポット | 松村硬質陶器 | 柳宗理 | 1952頃 | 個人蔵
2. 急須・湯呑 | 菱産業 | 剣持勇デザイン研究所 | 1958 | 剣持デザイン研究所蔵
3. スツール | 東京クラフト/信楽窯 | 芳武俊介 | 1968 | 山形県南陽市宮内公民館蔵
4. 坐ることを拒否する椅子 | 陶光庵 | 岡本太郎 | 1963 | 甲賀市信楽伝統産業会館蔵
5. SPセット | セーエー・クラフト | 加藤達美 | 個人蔵
6. G型しゅうゆし | 白山陶器 | 森正洋 | 1958 | 岐阜県現代陶芸美術館蔵
7. 柳印梅鉢文汲出し | 水月堂 | 荒川豊蔵 | 1960年代 | 多治見市美濃焼ミュージアム蔵
8. プリティセット | ノリタケ | 1970年代 | 個人蔵
9. 節水消音式トイレ | カスカディーナ | 伊奈製陶 | 1974(発売) | 株式会社LIXIL蔵 | 撮影:尾鷲陽介 * 年代はデザイン年を示す

【公共交通機関でのアクセス】

- 東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央線に乗り換え/多治見駅から
◎タクシー 約10分
◎多治見市コミュニティバス「オリバ観光ルート」約20分
→「セラミックパークMINO」下車 ※土・日・祝のみ運行
◎東鉄バス「瑞浪駅前」→「妻木上郷」(駄知)行き 約15分
→「セラパーク・現代陶芸美術館」下車→徒歩約10分

【お車でアクセス】

- ◎東京方面: 東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由
◎富山方面: 東海北陸自動車道→美濃関JCT経由
◎長野方面: 中央自動車道→土岐JCT経由
→東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分
◎大阪方面: 名神高速→小牧JCT経由
→中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分
→「東町1」の交差点を右折



関連プログラム

記念講演会「陶磁デザインの過去未来—いずかたからいずかたへ」

10月24日(土) 14:00～15:30

戦後、国際標準の達成から日本的個性の発見へと移り変わっていったデザインの歩みをたどりながら、陶磁デザインの見方と捉え方についてお話いただきます。
講師: 森仁史(本展監修者、金沢美術工芸大学柳宗理記念デザイン研究所 所長)
会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
聴講無料・要事前申込(ウェブ) 受付開始: 9/19(土) 10:00-

ワークショップ「加飾でデザイン:美濃のラーメンどんぶり」

11月21日(土) 13:30～15:30

実は、日本国内で生産されているラーメン丼の約9割は美濃焼です。量産を支える技術について学びながら、転写等による装飾でオリジナルのラーメン丼をデザインしましょう。
会場: 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
定員: 20名
対象: 小学3年生以上
参加費: 1,500円
要事前申込(ウェブ) 受付開始: 9/26(土) 10:00-

美濃焼産地・下石をめぐる陶磁器工場ツアー

12月5日(土) 13:00～15:30(予定)

徳利の生産地として知られる岐阜県土岐市下石地区。産地の技術を活かし、魅力的な製品を手掛ける陶磁器メーカーの工場見学を中心に、陶磁器産地を歩いてめぐります。
会場: カネコ小兵製陶所、下石のまちなか
協力: 土岐市観光ガイドの会
定員: 15名
要事前申込(ウェブ)(現地集合、徒歩移動があります。詳しくは当館HPをご確認ください)

建築ツアー「セラミックパークMINOの魅力に歩いて迫る」

1月9日(土) 10:00～11:30 / 13:30～15:00

建築家の磯崎新によって設計された岐阜県現代陶芸美術館およびセラミックパークMINO。地元の陶磁器製品を用い、自然との調和を意識し作られたこの建物の魅力を、設計に携わった建築史家とめぐります。通常非公開の渡廊下などを含む建物見学ツアーです。
講師: 稲川直樹(建築史家、磯崎新アトリエ元所員)、村瀬良太(建築史家)
会場: セラミックパークMINO
定員: 各回25名
参加費: 1,000円(展覧会観覧料を含む)
要事前申込(ウェブ) 受付開始: 11/7(土) 10:00-

ギャラリートーク

11月8日(日)、12月20日(日) 各日14:00～

当館学芸員が展示解説を行います。
聴講無料(ただし要観覧券)、事前申込不要

この他にも会期中さまざまなプログラムを予定しています。
詳細や各イベントの申込方法については当館ウェブサイトをご確認ください。
ウェブサイトはこちら▶



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101
URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

X(旧Twitter)

Facebook

Instagram

